講義名	旅行事業経営論					授業形態	
担当教員	山川　拓也	開講期・曜日・時限	後期 水曜日 ２時限				
		単位数	2	履修開始年次	２年生	ナンバリング・コード	T0R361

主題と概要

観光産業は世界的にみても成長を続けてきた産業の一つである。コロナ禍によって一時期は停滞したものの、現在は再び成長曲線に戻っている。旅行業（旅行会社）は、旅行者の移動・滞在・交流を下支える重要な役割を担っており、観光産業において中核的な位置づけとなっている。一方、近年は、旅行者が旅行手配を自らの手で簡単にできるようになってきており、外的環境や社会構造の変化にあわせた変革の必要性が高まっている。

本科目は、旅行業の成り立ちに始まり、ビジネスとしての基本構造と特性、市場や事業を取り巻く世界的変化、ビジネスモデルの拡張と変革等に関し、主に産業論や経営学の観点から幅広く解説していく。それらを通して、旅行事業経営への理解を深めていく。

到達目標

①我が国における現代の旅行事業および旅行ビジネスの産業的な構造を把握・理解できるようになる。

②現在の旅行事業経営に関する気づきから、問題点・機会点を客観的に分析し、将来の旅行事業の在り方や方向性について考え、論理的に説明できるようになる。

提出課題

・毎回の授業終了後、期限内に提出を求める「理解定着の為の記述課題」（Campus-Xsで実施予定）

・毎回の授業終了後、期限内に提出を求める「リアクションペーパー」（Campus-Xsで実施予定）

・論述レポート（詳細については授業中に説明する）

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

「理解定着の為の記述課題」「リアクションペーパー」の内容について、解説や補足等の必要性を認めたものは、適宜それを共有する。

評価の基準

下記による総合評価とする。

①授業後に実施する「理解定着の為の記述課題」・「リアクションペーパー」への取り組み・提出状況：２０％
②知識定着確認テスト（第15回の授業中に実施／筆記）：５０％
③論述レポート：３０％

＊毎回の出席確認は厳格に実施する。
＊①理解定着の為の記述課題／③論述レポートの未提出は、０（ゼロ）点となり、最終評価に影響を及ぼす。
＊累積の欠席回数が５回以上になった場合、評価を受ける資格がなくなる。（失格/E）
＊遅刻・早退（時間の長短を問わない）は、１回につき0.5回の欠席として算入する。
＊スマホ等の電子機器類の無許可かつ私的な使用、私語や睡眠の継続、教員の指示や指導に従わない等は態度不良・授業妨害と判断し、評価に重大影響を及ぼす。
＊リアクションペーパーの記述内容が優れる場合、一定基準のもとで加点する。
＊③の論述レポートに対する評価指標の基本は、本シラバスに添付の「コモンルーブリック」に基づく。

履修にあたっての注意・助言他

専門内容を多く含むものとなり、旅行業への就業希望者ならびに旅行事業に関心の高い人でない限り、安易な気持ちでの履修は苦しむことになる。その点を十分に考慮・理解した上で履修を検討すること。

教科書

.使用しない.				

参考図書

.旅行産業論 改訂版.	立教大学観光学部旅行産業研究会（編集）	日本交通公社	2200	9784866313382
.改訂版 変化する旅行ビジネス：個性化時代の観光をになうハブ産業.	小林弘二，廣岡裕一	文理閣	2750	9784892598913
.観光ビジネスの新展開：未来を切り拓く旅行会社.	福本賀太，田中祥司	晃洋書房	2970	9784771037939

その他

プリント資料：毎回の授業では講義レジュメを配布し、パワーポイントを使用して授業を実施する。

授業計画

(1) ガイダンス（科目概要・授業方法・成績評価等の説明）
予習内容：シラバスを通読し、授業内容の大枠を把握して講義に臨む。（50分）
復習内容：講義の資料やノートを見直し、講義内容の理解を確実なものにする。（50分）
(2) 旅の質的変化と旅行業創生／近代的旅行業の始まり
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(3) 旅行会社の現況と業態
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(4) 旅行業の自立的産業への過程
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(5) 旅行商品と旅行業経営の特性
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(6) 旅行業法の概略／旅行契約の種類
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(7) 旅行商品のバリューチェーン（価値連鎖の仕組み）
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(8) 流通チャネルのマネジメント
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(9) 旅行・観光商品の造成マネジメント
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(10) <展開事例研究> パッケージツアー販売における顧客参加型マーケティングの実践
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(11) <展開事例研究> オンライン旅行会社（OTA）による旅行業のイノベーション
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(12) <展開事例研究> 日系旅行企業の海外進出にみる旅行業の国際経営
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(13) <展開事例研究> BTM（ビジネス・トラベル・マネジメント）にみる業務渡航・出張旅行の変化
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(14) <展開事例研究> ソリューションビジネスの構築・推進に向けた旅行会社の変化
予習内容：講義の主題テーマについて、自分なりに予め情報を収集した上で講義に臨む。（70分）
復習内容：授業内容を整理し、理解定着の為の記述課題／リアクションペーパーに取り組む。（180分）
(15) [テスト] 知識定着確認テスト（フィードバック解説を含む）
予習内容：これまでの授業内容を整理し、テストに向けた準備を行う。（180分）
復習内容：リアクションペーパーに取り組むとともに、論述レポートの作成に向けた準備を行う。（70分）

授業形態（アクティブ・ラーニング）

	ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
	ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク
	オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク
	キ：その他（ＡＬ型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）		

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本科目での目標に到達することは、観光ビジネスを理解する上で必要となる旅行事業に関する知識類を修得し(目標①)、旅行事業に留まらない全体的な観光マーケティングや観光マネジメント等に接続して考えられるようになる(目標②)ことであり、本学ならびに学部・学科が定めるDP（卒業認定・学位授与の方針）と関連する。

・旅行業は観光産業における代表的な流通機構であり、そこでの事業ならびに経営の構造を理解することは学部共通DPに貢献する。

・到達目標①②を達成することにより、学科共通DPに貢献できる。具体的には、到達目標①は「観光事業の仕組みや経営構造を把握、理解する思考力」の涵養に貢献し、到達目標②は「課題解決や新たな価値を自ら作り出す想像力と提案力」の涵養に貢献する。

・主に到達目標①を達成することは、コースDPにある「旅行業、交通運輸業あるいは自治体や地域の観光団体での就業に必要な知識や技能の修得」に貢献する。

・主に到達目標②を達成することは、コースDPにある「旅行業、交通運輸業あるいは自治体や地域の観光団体での就業現場において自ら考える力を発揮し、観光地づくりや観光ビジネスに係わる新たな取り組みへの提案を行うこと」に貢献する。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

・毎授業後に実施する「理解定着の為の記述課題」や「リアクションペーパー」等の課題への取り組みにおいて、LMS（Campus-Xs）を活用する。

・必要に応じて授業中でもresponを使用し、意見収集等を行うことがある。

実務経験の有無及び活用

「実務経験あり」
旅行業および旅行サービス手配業の実務経験（欧州を中心とする海外団体旅行の企画造成、営業、添乗、海外駐在、市場戦略策定）ならびに「総合旅行業務取扱管理者」（国家資格）の知識・知見を活用し、本科目の目標に学生が到達できるように努める。

備考

科目の進捗状況等によって授業の内容や順番を変更する場合があり、その際には事前に告知する。